

2025年7月24日

各位

株式会社グリーンエネルギー&カンパニー
代表取締役社長 鈴江 崇文
(証券コード：1436)

当社保有の霧島蓄電所にデロイト トーマツ コンサルティング合同会社が参画
ー 系統用蓄電池事業の事業高度化と展開加速へ ー

制度・市場両面の知見を持つ企業の参画により、系統用蓄電池事業の高度化を推進

株式会社グリーンエネルギー&カンパニー（以下「当社」）は、当社を含めた3社で出資・設立した合同会社霧島蓄電所において、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社（以下「デロイト トーマツ」）が新たに運営に参画したことをお知らせいたします。

霧島蓄電所は、既に運転を開始している系統用蓄電池施設であり、再生可能エネルギーの安定供給を支える社会インフラとしての役割を担っています。このたびのデロイト トーマツの参画により、同社が系統用蓄電池領域において培ってきた制度・市場等の複合的知見が導入されます。このことは、当社にとっても今後の系統用蓄電池事業の戦略的展開に向けた示唆を得る機会となります。

次世代の系統用蓄電池ビジネスを見据えたナレッジの蓄積を期待

デロイト トーマツは、次世代系統用蓄電池ビジネスの支援において、導入に関する事業性評価、市場制度（卸電力市場・容量市場・需給調整市場など）への対応、さらには再エネ・アグリゲーション含めたエネルギー全体戦略に至るまで、包括的な支援を行っています。

デロイト トーマツによる霧島蓄電所への運営参画が、系統用蓄電所の運営の最適化および収益最大化に資することを期待しております。

さらに当社は、霧島蓄電所の運営を通じて得られるナレッジを蓄積し、将来に向けた蓄電池事業の戦略的拡張と、多様な再エネビジネスとの統合を視野に入れてまいります。

投資家・株主の皆様へ

当社は、再生可能エネルギーの主力電源化に資するインフラの開発と、その持続的な事業化を進めております。今回、制度・市場設計に精通するデロイト トーマツの霧島蓄電所の運営参画により示唆を得ることで、系統用蓄電池事業の実効性・拡張性を高める取り組みを一層強化できると確信しております。

今後も、外部パートナーとの協力により、エネルギー事業の成長ポテンシャルを最大限に引き出すとともに、株主・投資家の皆様に対して、着実な価値創造を図ってまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社グリーンエネルギー&カンパニー

IR 担当：板東・石川

ir@green-energy.co.jp

以上